

子宮頸がんワクチンと 子宮頸がん検診について



保健現場 レポート

福祉保健課
保健師

浅川 里恵

402

子宮頸がんは20～30代の女性がかかるがんの第1位になっており、日本では毎年約1.1万人が子宮頸がんにかかり、約2,900人が亡くなっています。

子宮頸がんには、効果が認められているワクチンがあります。今年度から、ワクチン接種の個別のおすすめを再開していますので、この機会に接種をご検討ください。



子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）を無料で受けることができます

HPVワクチンとは：

子宮頸がんの原因といわれるヒトパピローマウイルス（HPV）にはいくつかタイプがあり、HPVワクチンは子宮頸がんの原因の50～70%を占めるといわれるタイプのHPV型の感染を防ぐことができます。

キャッチアップ接種について：

個別におすすめする取り組みを控えていた間に定期接種の対象であった方で、接種の機会を逃した方へあらためて接種の機会をご提供いたします。キャッチアップ接種として、定期接種と同じく無料で受けることができます。キャッチアップ接種が可能な期間は、令和4年4月から令和7年3月までの3年間で、接種を希望される方は、なるべく早く接種をしましょう。

【接種対象者】

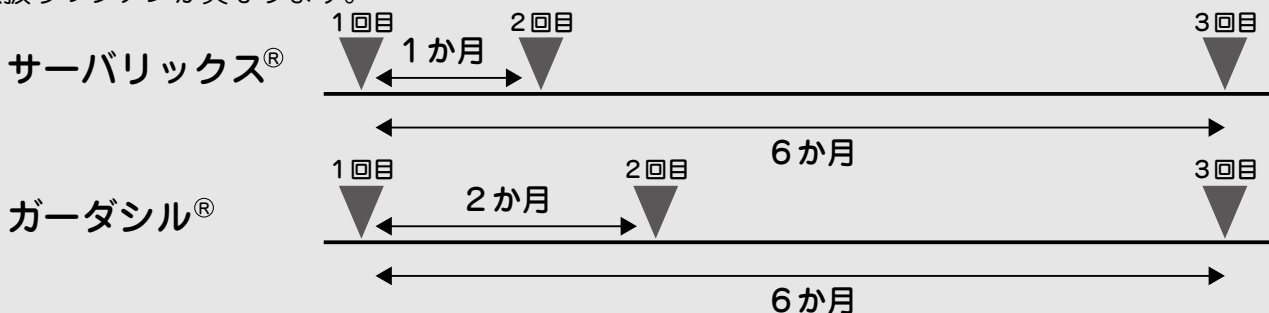
定期接種： 小学校6年～高校1年相当の女子

キャッチアップ接種： 平成9年度～平成17年度生まれまでの女性

【費用】 無料 ※対象期間を過ぎた場合の費用は、3回接種で約4～5万円です。

【ワクチン接種のスケジュール】

公費で接種できるワクチンは、2種類（サーバリックス[®]・ガーダシル[®]）あります。医療機関によって取扱うワクチンが異なります。



子宮頸がん検診も定期的に受けましょう

20歳以上の女性は定期的に子宮頸がん検診を受けることをおすすめします。ワクチンで感染を予防できないHPV感染もあるため、ワクチンを受けても受けていなくても、子宮頸がん検診を受けましょう。日南町の住民の女性であれば、子宮頸がん検診を毎年無料で受けることができます。医療機関でのがん検診も実施しているので、ぜひご利用ください。

ワクチン接種や子宮頸がん検診等について、ご不明な点がありましたら、
役場福祉保健課（82-0374）までお問い合わせください。

